

郵便局を拠点とした「住民接点を活用した生活支援モデル」の実証(兵庫県豊岡市)

【地域課題】

但東地域は人口3,488人(2025年)、高齢化率48.4%と高齢化が顕著で、今後30年間で人口は約47.4%減少と推計される。面積約86km²に高橋・合橋・資母の3地区が点在し、買い物・移動・健康相談・行政手続など生活機能の分散・不足が深刻化している。高橋では行政拠点までの距離や相談相手の不足により支援につながりにくく、合橋では交流・相談機能が不足。資母でも商業機能の欠如により日用品調達が困難で空き家も増加しており、買い物弱者や孤立の進行など地域生活基盤の維持が課題となっている。

【実証地域】兵庫県豊岡市但東町(但東中山郵便局、久畑郵便局、但東郵便局)

【実証期間】令和8年9月～令和9年1月

【実証内容】郵便局を拠点に、① 買い物支援・出張相談により、中山間地域で暮らす住民に必要な行政・生活機能を維持、② 行政窓口・民生委員等との連携体制を構築し、地域の課題把握、行政連携、③ 地域・健康づくりの拠点として郵便局で健康イベント・スマホ教室等を開催し多世代交流を促進

但東郵便局(合橋地区)

郵便局の空きスペースを活用

③地域・健康づくりの拠点

- 健康体操・スマホ教室の開催(地域住民が集まる企画を開催)
- ホット・クールスポットとして活用

連携

但東振興局

子どもからお年寄りまで多様な世代が集い、交流の場を創出

但東中山郵便局(資母地区)

連携

①買い物支援・出張相談

地区内を巡回

久畑郵便局(高橋地区)

②行政窓口・民生委員等との連携体制構築・地域巡回

- 新しい行政窓口
- ・区長、農会長の提出物取り次ぎ
- ・市からの配布物等の支給窓口

局長が地域に出向く
高橋地区

資母地区

移動郵便局等を活用

- 地域住民向けの移動販売
- 出張相談(健康・空き家)
- ・行政職員等による相談
- ・エンディングノートの配布等、行政サービスの補完

住民 コミュニティセンター

- 行政職員、民生委員等と連携
- ・地域の会合等へ郵便局長が参加

【3局共通の取り組み/情報発信・収集】

- 各局に市の情報発信を行う場を設置(市の広報、チラシ等設置)
- エッセンシャルサービスを行う場(ハブ)を活用し、利用者の声(新たな住民の声)を集め、政策検討や支援に結び付け、地域経営の仕組みづくりにつなげる

ポイント

- ✓地区ごとの課題に応じ、郵便局を拠点に行政・生活支援・交流機能を集約し、地域特性に即したコミュニティハブとして再構築。
- ✓移動販売や相談機能等の各事業で生まれる住民接点を活用し、新たなニーズ把握と早期支援につなげる持続的な支援モデルを確立することで、生活の利便性向上と集落支援・見守りなどの機能強化を両立。